

STUDENT INTERVIEW

金城 翔太 (2011年01月入学)

「教え方」に答えはない

自分の創造力が武器になる



JALC を選んだ理由

主な理由は直感的にカリキュラムに共感したからです。海外で教育を学んだ私にとって、JALCが目標に掲げる実践力や学習者主体のレッスンは僕の考える教育理念にマッチしていると感じました。また、オーストラリアで短期間で取れる資格というところにも魅かれ、日本語教師養成講座を選ぶに当たって他と比較せず、即決でJALCにしました。

皆様へメッセージ

当初は一般的な日本の教育にありがちな教師主体型の授業を想像していましたが、入学初日から生徒が自由に考えを出し合い意見交換、ディスカッションをする生徒主体型の授業が展開され、普通の学校とは違うと感じました。人によっては羨ましいと言う人もいますが、むしろ僕にはこの環境が合っていると感じています。本気だからこそ先生方は厳しくしてくださるし、生徒に熱意や情熱があればそれだけ真剣に向き合ってください。実際、とても親身になって私の人生相談にも乗ってくださいました。

授業内容について

基本的に理論と並行して模擬授業を行います。やり方を教わる前にまずは自分でやってみるというスタンスなので、マニュアル通りの教育しか受けたことのない人には慣れないかもしれません。「教え方」に答えはないので、とりあえず実践してみてフィードバックをもらう。そしてまた繰り返す。このレッスンプローが、理解度や実践力を高めるキーポイントになっています。まさしく自分の創造力が武器になる授業です。

卒業後の展望について

進路はまだ決まっていませんが、先進国と日本の文化交流を促進できる日本語教師になりたいと考えております。それと同時に、日本語教師としての経験と言語に関する知識もさらに深めていきたいと思っております。チャンスがあれば英語圏の国で、それ以外の国でも、文化・言語的にも興味がある韓国や台湾なども検討しており、現在はいろいろな求人を見て情報を集めています。数年後、余裕ができたら言語にまつわる修士課程も取りたいと考えています。

JALC 生に一問一答 !!

■ 入学前編 ■

- Q. いつ頃から留学準備を始めましたか？
A. 留学準備は2011年10月に申し込んですぐ始めましたが、渡航の荷造りは2日前にしました。
- Q. 日本語教育に携わったことはありますか？
A. ちゃんとした機関ではありませんが、アメリカで言語学を学んでいました。

■ 衣食住編 ■

- Q. 現在どこに住んでいますか？
A. ヘイマーケットのマンションに8人で住んでいます。
- Q. そこはJALCから歩いて/バスで/電車で何分ですか？
A. 徒歩10分圏内です。
- Q. 家賃はいくらですか？
A. 週\$140で光熱費・インターネット代込みです。
- Q. 普段は何時に寝ますか？
A. 課題の量によってまちまちですが、平均は2時です。

■ JALC 生活編 ■

- Q. JALCの立地についてどう思いますか？
A. シティの中心にあり、非常に便利だと思います。
- Q. JALC生活で楽しいと思うことは何ですか？
A. いろいろな経験をしてきた方々のお話を聞くことです。
- Q. JALC生活で大変だと思うことは何ですか？
A. 常に大荷物(パソコン、コースノート、プリント用ファイル、日本語の参考教科書など)を持ち運びしていることです。
- Q. 先生方は厳しいですか？
A. 先生方の日本語教師を育てる上での責任と愛情の裏返しだと感じているので、私は厳しいとは思いません。
- Q. 日本語教授法以外にJALCで身につけることができた、もしくは身につけたいことは何ですか？
A. 人と協力することや意見を尊重し合うことの大切さを身につけることができました。